

# 日本経団連自然保護協議会 の最近の活動について

2009.8.26

日本経団連自然保護協議会  
会長 大久保尚武

# もくじ

- I. 第3次国家戦略策定以降の活動概要について
- II. 「日本経団連生物多様性宣言」について
- III. 今後の活動の方向性について
- IV. 生物多様性をめぐる課題等について

# I . 最近の活動概要

1. 企業向け啓発活動
  - シンポジウム、セミナー等の開催
2. 国際会議への参画を通じた情報収集と発信
  - COP9 (ボン、08.05)
  - IUCN世界自然保護会議 (バルセロナ、08.10)
3. 生物多様性ワーキンググループを通じた勉強
  - 政府関係者、学者、NGO等との意見交換・ヒアリング
4. 企業活動アンケートの実施
  - 企業の生物多様性に関する活動の現状把握
5. 日本経団連生物多様性宣言とりまとめ

# I-1. 企業向け啓発活動

年月日	会合名	テーマ	主な出演者
2007.1.24	懇談会	生物多様性とビジネスの在り方	ジョグラフCBD事務局長
2007.1.27	国際シンポジウム	生物多様性条約～世界と日本を結ぶ国家戦略を目指して	ジョグラフ事務局長、 マクニーリIUCN主席研究員
2007.6.4	講演会	自然を保護する戦略～直線から曲線へ	月尾嘉男東京大学名誉教授
2007.8.1	交流会&シンポジウム	企業活動を通じたNGOとの協働による生物多様性	渡邊綱男環境省課長、 岸 由二慶応義塾大学教授
2007.10.17	セミナー	IUCN事務総長を囲んで	ルフェーブル事務総長 草刈WWFジャパン次長
2008.1.18	「経済Trend」座談会	自然保護と企業のあり方を考える	川勝平太静岡文化芸術大学学長、 澁澤寿一樹木・環境ネットワーク理事長 ほか
2008.4.17	交流会&シンポジウム	企業と生物多様性保全～CBDCOP9から10に向けて	涌井史郎桐蔭横浜大学教授、 石田秀輝東北大学大学院教授 ほか
2008.8.29	交流会&シンポジウム	生物多様性保全～COP10への針路を考える	香坂玲名古屋市立大学准教授、 宮城泰年聖護院門跡門主 ほか
2008.12.3	セミナー	生物多様性保全に向けて～企業とNGOのパートナーシップ	塚本一郎明治大学教授 日比保史CIジャパン代表 ほか
2009.4.21	交流会&シンポジウム	「宣言・行動指針」発表記念 生物多様性を育む社会のために	香坂玲名古屋市立大学准教授 グリフィスWBCSDディレクター ほか
2009.5.20	講演会	恐竜時代から考える現代の生物多様性とヒト社会の未来	西田治文中央大学教授
2009.7.7	「経済Trend」座談会		養老孟司東京大学名誉教授、 徳川恒孝WWFジャパン会長



## I-2. 国際会議への参画

- ▶ 生物多様性条約第9回締約国会議
  - 開催地、時期：ボン(ドイツ)、08.05.24～06.01)
  - 派遣団長：村上 仁志 住友信託銀行特別顧問
  - 主な活動：活動概要紹介、ブース展示
- ▶ IUCN第4回世界自然保護会議
  - 開催地、時期：バルセロナ(スペイン)、08.10.05～08)
  - 派遣団長：吉田 元一 三井物産副社長
  - 主な活動：パネルディスカッション参加、活動概要紹介(基金支援NGOとともに)

# I-3. ワーキンググループの活動

日にち	テーマ	講師
2008.2.7	ワーキンググループ活動の方向性について	NGO, 政府関係者、大学教授
2008.3.27	生物多様性条約関連会合参加報告	IUCN日本委員会、日本湿地ネットワーク ほか
2008.4.21	第三次生物多様性国家戦略について	環境省
2008.6.17	COP9 参加報告	COP9派遣団
2008.7.14	COP9の課題とCOP10の展望	大学准教授
2008.8.5	COP9の報告とCOP10への課題	日本自然保護協会
2008.8.25	生物多様性保全の現状と今後の取り組みについて	環境省
2008.9.24	遺伝資源の利用とアクセス	経済産業所
2008.9.29	生物多様性保全と企業に求められること	日本生態系協会
2008.10.23	「都市と生物多様性」	COP10支援実行委員会
2008.10.30	生物多様性と企業 CSRをいかに位置づけるか	コンサベーション・インターナショナル
2008.11.26	ビジネスと生物多様性イニシアティブについて	ドイツ技術協力機構(GTZ)
2008.12.1	企業と生物多様性 企業の役割	WWFジャパン
2009.1.26	(仮称)「生物多様性企業活動ガイドライン」案について	環境省
2009.2.2	(仮称)「生物多様性宣言」案 起草委員会報告	宣言起草委員会
2009.5.19	ABSに関する最近の動向について	経済産業省
2009.6.4	「生物多様性民間参画ガイドライン」案について	環境省
2009.8.21	農林水産省、農林水産業における生物多様性への取組	農林水産省

# I -4. 企業活動アンケート

## ▶ 調査目的

- 自然保護や自然環境教育などを含む、生物多様性に関する企業の認識度合い、関心の在処、活動状況などを把握し、「生物多様性宣言」等策定の基礎資料とすること

## ▶ 調査期間：2008.9.10～2008.10.10

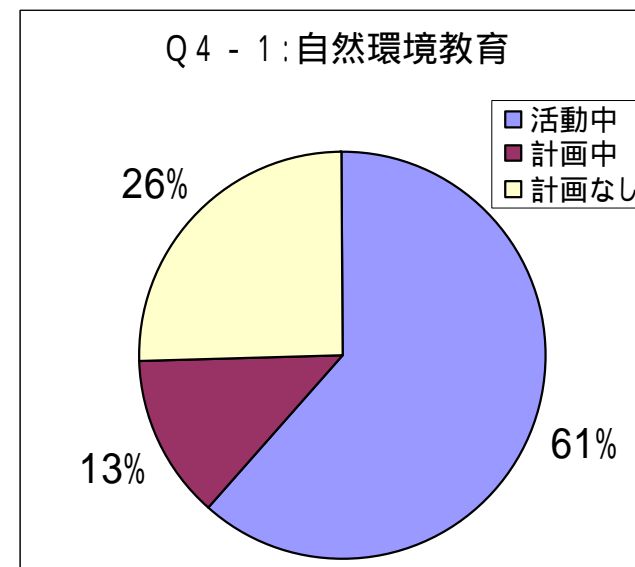
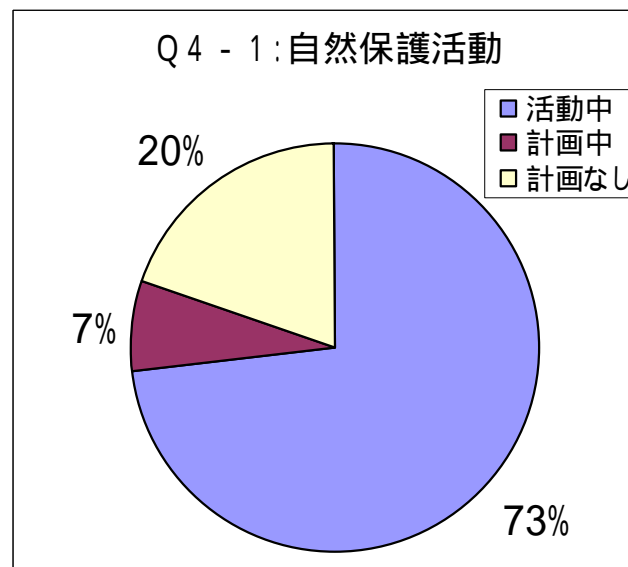
## ▶ 調査方法：調査票を送付し、回答記入後返送

## ▶ 調査対象：自然保護協議会会員＋日本経団連主要企業（計350社）

※ 回答：148社（回答率：42.3%）

## ▶ 調査結果の例

- 「自然保護・生物多様性保全、自然環境教育」に関し、活動プロジェクトがあるか。



## Ⅱ「日本経団連生物多様性宣言」

### ▶ 構成

- 前文：策定の趣旨、経緯
- 本文：7項目の柱
- 行動指針：15項目
- 行動指針の手引
  - ・ 目的：行動指針に沿った事業活動を展開する際の手引書
  - ・ 構成：「ねらい」「留意点」「活動例」
  - ・ 配布：冊子版、PDF版（協議会HPからダウンロード可能）
- 事例集
  - ・ アンケートにより得られた108社、581事例を分野別に紹介（非公開）
  - ・ 公開バージョンは別途、当協議会HPに掲載（現在の「自然保護活動」事例のページを改定・更新の予定）

## ▶ 7本柱の概要と行動指針

### 1. 事業活動と自然循環との調和(基本理念)

- この理念の企業経営への反映

### 2. グローバルな視点の重要性

- 国際的な視点と多様性を尊重する視点
- 遺伝資源の利用

### 3. 生物多様性への自発的かつ着実な貢献

- 予防的対応、順応的管理について
- サプライチェーンとの関わりについて
- 経済的手法の利用について

### 4. 資源循環の取り組みの継続

- 省エネ・省資源、3R活動は生物多様性にも貢献

## ▶ 7本柱の概要と行動指針

### 5. 技術開発の推進

- 技術開発による新しいライフスタイルの提案
- 自然や先人の知恵に学ぶ技術開発(例: バイオミミクリー)
- 都市の生物多様性

### 6. ステークホルダーとの連携

- 専門的知見の活用と知見の共有
- 経済的、人的支援

### 7. 率先して貢献する決意

- 生物多様性育む社会づくりへの貢献
- 環境教育への取り組み

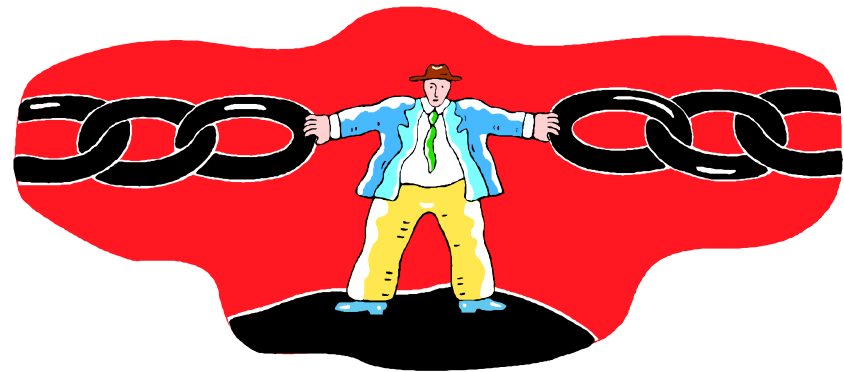
## Ⅲ. 今後の活動の方向性

- ▶ 「宣言」の浸透と、企業の取り組みの向上を図る
  - セミナー、シンポジウム等の実施、参加
    - 9/14: 「生物多様性入門セミナー」(協議会主催)
    - 10/10: 「シンポジウム」(IUCN日本委員会と共催)
    - 10/15: 「神戸生物多様性対話」
  - フォローアップアンケートの実施(今秋目途)
  - 国際的な発信
    - 12/1 : 「ビジネスと生物多様性チャンレジ会議」(CBD事務局主催、ジャカルタ(インドネシア))
- ▶ 国際交渉に関する産業界の意見集約、発信
  - 国際的経済団体との意見交換
  - 「円卓会議」における情報交換
  - 関係各省、NGO等との意見交換



# IV. 課題認識等

1. サプライチェーン全体に関する生物多様性への影響の管理を行うための課題
  - 影響を的確に把握するためのデータとは？
  - データは取得可能？
  - 「チェーン」の長さ、本数、「鎖」の数？
  - 取引先へのデータ提供依頼は取引先の負担に？
  - 認証制度の信頼性？



## 2. 経済的手法について

- 的確な経済評価の可能性
  - 複雑な自然の仕組みを完全に認識・評価できるか？
- 多様性の尊重と金銭評価(相対化)の矛盾(例:オフセット)
  - 固有種の生息地を破壊しても他の土地の保全行為で代替？
  - 他人の行った湿原保全の価値を購入して森林開発に充当？  
→ 本来適用できない事例への適用を防止できるか？



- 評価結果や活用方策(資金メカニズム)については慎重な検証作業が必要
  - 最大限の保全努力が行われるか？
  - 適用地域の生物多様性に貢献するか？(資金の使われ方や効果に関して確認できる仕組み)

※ プロジェクトベースの支援の有効性



「オランウータンの森」と「マングローブ林」、  
生物多様性の価値を比較、評価できるのか？

いずれも、「自然保護基金」の  
支援プロジェクト視察時に撮影